

2009年度 JRGA 理事会 議事録

日時：2009年2月11日 10:30～16:30

場所：愛知県勤労会館

出席者：長谷川会長、櫻井理事長、橋本理事、市村理事、星島理事、宮川理事、篠原理事、浅野理事 計8名

1. 開会の言葉：櫻井理事長
2. 理事会成立宣言：理事30名中、出席者8名、委任状提出者17名で理事会は成立。
3. 議長及び書記の選出：議長に櫻井理事長、書記に浅野理事が選出された。
4. 議事
 - 4.1 報告事項
 - 4.1.1 2008年度一般経過報告：各理事より昨年の活動報告があった。
 - 4.1.2 2008年度会計決算報告：長谷川会長より決算報告(別紙)があった。
 - 4.1.3 会計監査報告：上記決算報告について、浅野監事より問題がなかったことが報告され、承認された。
 - 4.1.4 理事離任報告：長谷川会長より、辻正美理事長及び武笠邦雄理事の離任が報告された。
また、辻理事長の後任として櫻井英世理事が理事長に就任したことが報告された。
 - 4.1.5 理事就任報告：片山元氏の理事就任が確認された。
 - 4.2 審議事項
 - 4.2.1 規約見直しの件
 - ・ 昨年からの会費見直しが行われているが、協会規約そのものが改正されておらず不明確な状態であり、問題であるとの課題提起があり、本理事会で規約見直しを行った。(改正後の規約は別紙参照)
 - ・ 規約見直しにより、会費の納入形態については単年度の2000円のみとし、3年前前納や家族会費の取り扱いを廃止する。また、新入会員の入会金は2000円ままとし、会費については次年度からの徴収とする。
 - ・ 会費未納者については休会扱いとし、翌年の会報及び名簿から削除する。但し、会費納入されれば、翌年から復帰扱いとする。
 - ・ 理事の選任については、理事または会員の推薦により候補者を選出し、理事会で承認後、会長が任命することを規約に加えた。
 - 4.2.2 その他の課題、運営改善等
 - ・ 事務局の負担低減のために、会員証の発行については、継続会員は年初の会報発行時に同時に会員証を添付し、従来の会費納入毎の発行は行わない。但し、新入会員に対しては従来通り、その都度発行する。よって、会報は年初にできるだけ早期に発行する努力をする。
 - ・ 長谷川会長が協会の事務局運営をされてきた業務を各理事で分担し、特定の理事に過大な負担がかからないように見直した。(別紙参照)
 - ・ 会費振込みについては、会員の利便性を考慮し、従来の郵便振替以外にも銀行振り込みが可能になるよう、ゆうちょ銀行口座を開設する。
 - ・ JRGA 会員の特典である、競技会参加費の割引制度については引き続き実施すべきであるということが確認された。一部の競技会で未実施との報告もあったが、会員獲得のためにも協会として推奨する。
⇒「各競技会主催支部のご協力よろしく申し上げます。」
 - ・ JRGA インターネットホームページ開設に向けての準備が開始された。本年中には運営を開始する。
⇒<http://jrga.jp/>

- ・ RC グライダーの経験が豊富で影響力の大きい人材が過去に JRGA を退会しているが、再入会を促し、協会の活性化につなげて行きたい。会員の減少を食い止めていくことを考えないと、協会の存亡に係わるところまできている。(名簿上の会員数約140名、会費納入済会員数約70名が実態)
競技会は全国規模で定期的で開催されており、JRGA の存在意義は十分あると考えられる。今年1年を JRGA 改革の年とし、会員になりたいと思われる協会を目指して努力する。
- ・ 日本選手権の運営実態は JRGA 会員なので、日本選手権参加資格に JRGA 会員を加えたいという意見が出たが、本年1年間を検討期間とすることになった。

4.2.3 JRGA40 周年記念事業について

- ・ 来年2010年が JRGA 創立40周年を迎えるにあたって、何か記念になる事業をすべきではという提案があり、本年1年をその準備期間とし、検討していくことになった。

例: 尾島の RC ページェントでグライダー協会の時間をもらい、グライダーの楽しさを広く啓発する。

40周年の節目で、金銀銅の表彰メダルをトロフィー、楯、カップ等別なものに変更する。等

4.2.4 グラチャンの結果報告(別紙参照)

4.2.5 2009年度会計予算案承認の件(別紙参照)

- ・ 別紙のとおり、予算案が提示され承認された。

4.2.6 2009年度競技会スケジュール調整(別紙参照)

- ・ 調整の結果、別紙のとおり、競技会スケジュールが作成された。

以上